

+

結核しずおか

11号2003年1月24日

発行所

財団法人結核予防会静岡県支部

〒420-0915

静岡市南瀬名町6-20

TEL 054-261-2512

FAX 054-261-9474

Eメール tb-shizu@topaz.ocn.ne.jp

発行責任者 金原明彦

印刷 三協印刷株式会社

賀正



年頭所感

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、お健やかに新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

日頃から、当支部の結核予防対策の普及啓発、検診業務につきまして、県、市町村、医師会、学校をはじめとする関係各位の御指導、御協力により順調に進展し、お陰様で県民の皆様の健康にいささかなりともお役に立つことができましたことを深く感謝申し上げます。

県におきましては、昨年、新しい総合計画「魅力ある“しずおか”2010年戦略プラン」を策定し、富士山のように誰からも信望される徳のある豊かな県「富国有徳」の魅力ある地域づくりに挑んでおります。この中で、健康で心ふれあう“安心社会”づくりは、重点事項の一つとして掲げております。県民個人の健康づくりの支援として、市町村、健康福祉センター、学校、職場での健康診査、健康相談・指導の推進に取り組むなど、病気の早期発見・早期治療の大切さからその体制整備を目指しています。

当支部におきましても、現下の社会経済情勢の影響により厳しい財政状況にありますが、より一層の経営効率化、事業拡大、収益率の向上等に努め、経営の安定化を図ってまいります。一方では、公益法人としての役割を果たすため、市町村保健行政への貢献を基本姿勢として、辺地への検診、突発的に発生する結核の定期外検診（接触者検診）の受託機関としての役割を果たすなど結核予防、結核制圧に今後も努めてまいります。

本年も、結核予防会静岡県支部の活動に対しまして、一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。新年の御挨拶といたします。

平成15年1月



財団法人結核予防会静岡県支部長
静岡県知事 石川 嘉延

小・中学校の定期健診中止へ結核予防法施行令を改正

小・中学校の定期健診中止については、以下のような方向性が示されより個別的な対応や有症状受診勧奨等が重視されていく模様である。現時点では、それに加え、それぞれの事情に合わせた各地域毎の方針も尊重されるものと思われる。

1 「結核予防法施行令の一部を改正する政令」の決定

小学校1年生と中学校1年生の定期健診（ツ反検査）を中止するもので、ツ反検査の結果が陰性の者に対するBCG再接種も実質廃止される見込みである。平成15年4月1日施行。

2 ツベルクリン反応検査の廃止

これに伴って具体的には、最初に結核を疑わせる症状等に関する問診を全員に対して行い、併せて内科検診の充実を図ることにより、児童生徒のうち結核の可能性のある者を見つけ出すこととする。さらに、学校における結核対策を検討する委員会等の場において、保健所や結核の専門家、学校医等の意見を聞いて、結核の可能性のある者のうち検査が必要と考えられる者には検査を実施する。

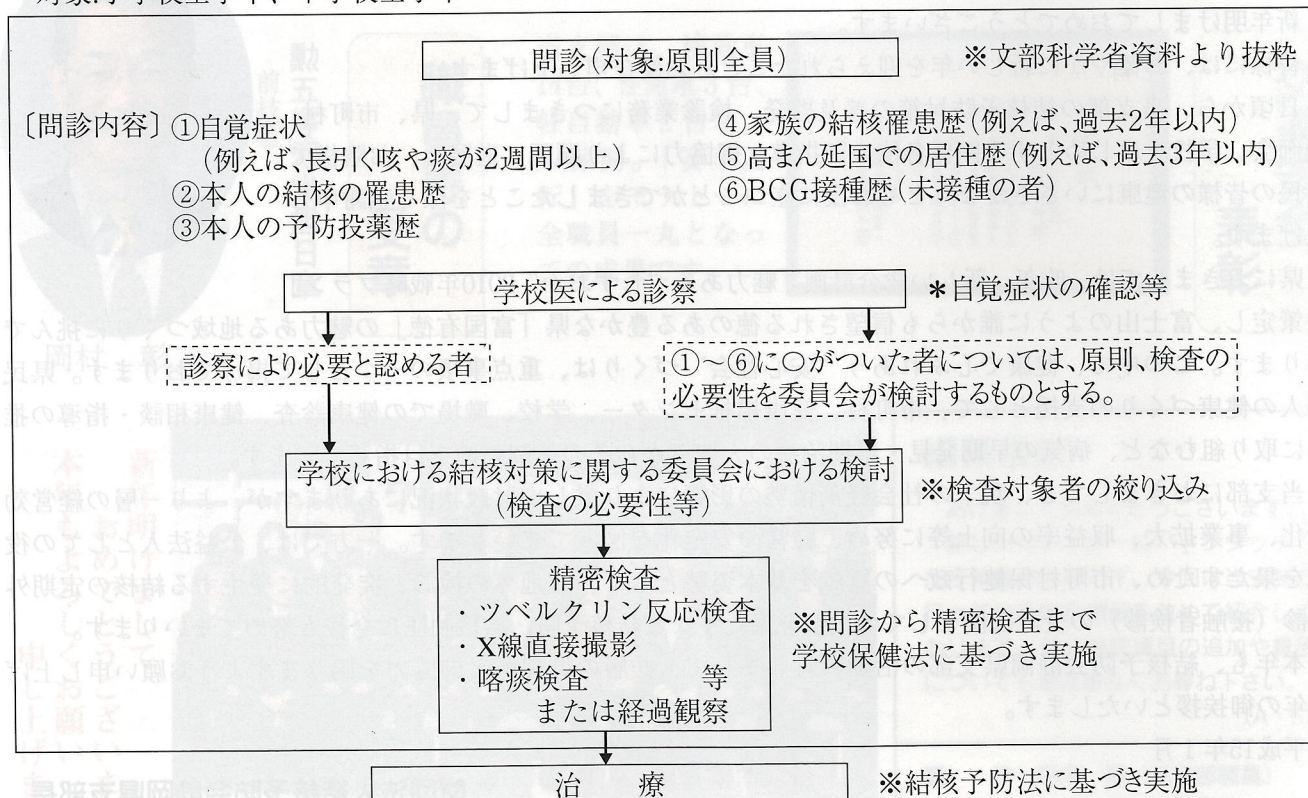
現在は、小学校1年生、中学校1年生において、ツ反検査を一律に実施することを中心に「結核感染の可能性の有無」の検査をしてきたが、今後は全学年に対し問診を実施し、必要な児童生徒には学年にかかわらず、適切な対応をとることも検討されている。

3 その他

高等学校、高等専門学校、大学、大学院における結核検診については、入学時、転入時、節目時のみ胸部X線検査を行うことも今後の検討項目となっている。

小・中学校における新しい定期健康診断の流れ

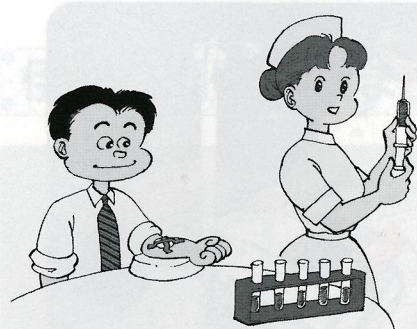
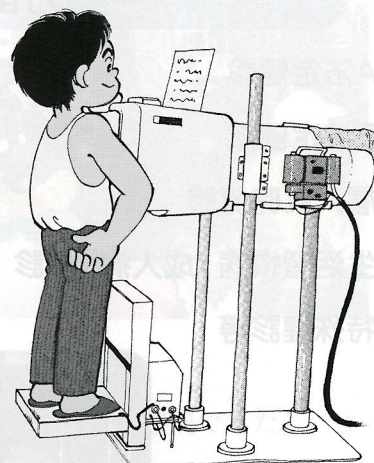
対象:小学校全学年、中学校全学年



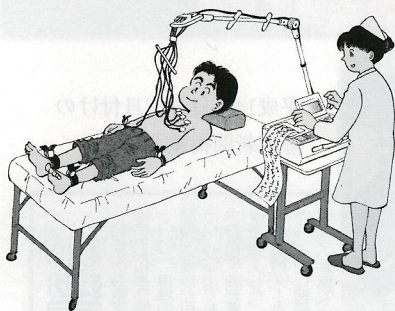
所内及び事業所等への出張健康診断を実施しています

一般健康診断・生活習慣病(成人病)健診

項目	内容
A 法定健診 (35才未満及び36才～39才の者)	診察、身長、体重、BMI、視力(スクリノスコープ) 血圧、胸部X線間接撮影、尿検査(糖・蛋白) 聴力(低会話法)
B 法定健診 (35才及び40才以上の者)	診察、身長、体重、BMI、視力(スクリノスコープ) 血圧、胸部X線間接撮影、尿検査(糖・蛋白) 聴力(オーディオメーター使用) 貧血検査〔赤血球数(RBC)・血色素量(Hb)〕 肝機能(GOT・GPT・ γ -GTP) 血中脂質(総コレステロール・中性脂肪・HDL-C) 糖検査(HbA1c) 心電図検査(安静時)



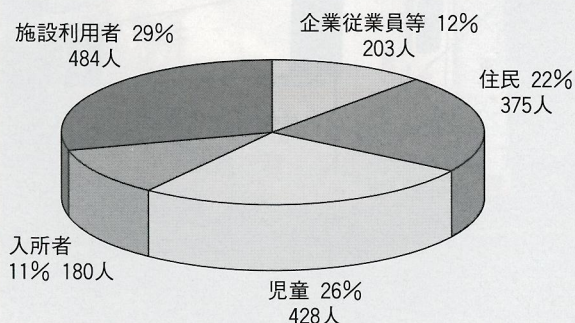
項目	内容
生活習慣病(成人病)健診	診 察 定—身長、標準体重、肥満度、BMI、 視力、聴力(オーディオメーター) 呼 吸 器—胸部X線直接撮影 循 環 器—血圧、心電図、眼底検査 血中脂質—総コレステロール・中性脂肪・HDL-C・LDL-C 腎 機 能—尿検査(蛋白・潜血)、クレアチニン、 尿素窒素 肝 機 能—GOT・GPT・ γ -GTP、T-Bil・血清総蛋白・ LAP・ZTT・アルブミン・ALP・LDH 糖 尿 病—尿糖・空腹時血糖・HbA1c 痛 風—尿酸 膵 機 能—血清アミラーゼ 血 貧—赤血球・血色素量・ヘマトクリット・白血球 消 化 器—胃部X線間接撮影(胃がん) 便潜血反応検査(大腸がん) 2日法 希望により 喀痰細胞診(肺がん) 子宮がん—スミア法(自己採取)
雇入れ時	① 法定健診 B法定健診(空腹時血糖) ② 簡易健診 A法定健診+聴力(オーディオメーター) 35才未満に限る。
省 略 健 診	胸部X線間接撮影、血圧、検尿(糖・蛋白) 但し、産業医 がおられる事業所



平成14年 結核定期外検診の状況

平成14年4月から12月までの定期外検診の総数は、1,670名(昨年同期1,673名)であった。本年は、老人保健施設入所者及び利用者の定期外が約40%を占めた。発病者は、70才～80才が約70%を占めた。

高齢化がますます進む中、早期発見の強化と発病予防の推進のため老人保健施設等の入所者の定期健康診断及び施設利用者の積極的健康チェックの一層の徹底が望まれる。



労働安全衛生法による一般健康診断

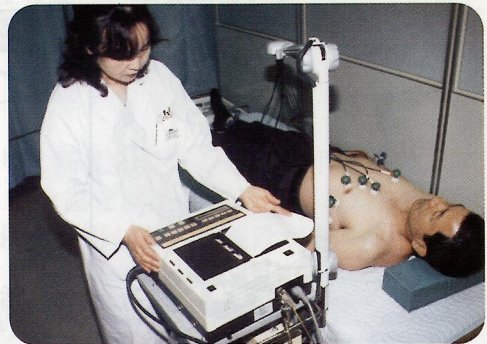
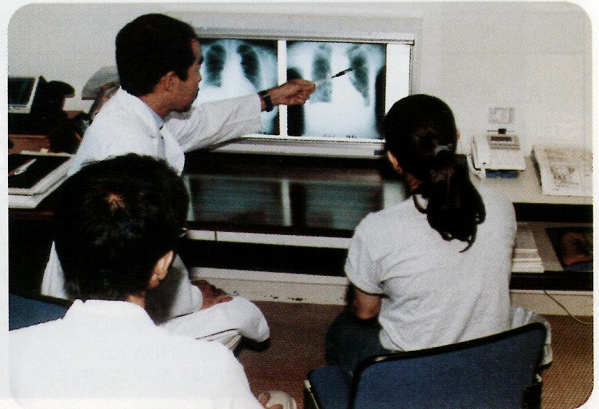
A法定健診

B法定健診

雇入れ時健診

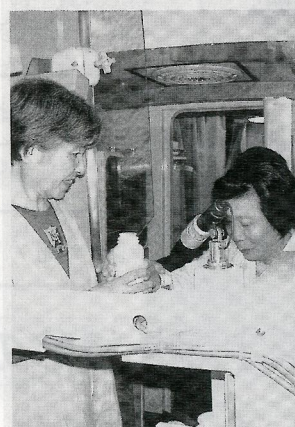
生活習慣病（成人病）健診

特殊健診等



新検診車の紹介

小型胃・胸部兼用検診車導入（けいりんD-770号の全景）



小型化した検診車の中で検診を受ける市民ら

平成14年11月12日付けの
静岡新聞掲載記事

小型の胃・胸部検診車を導入

結核予防会県支部（支）によつて、全国で滋賀県部長・石川雅延知事は、に次いで一番目の購入とこのほど、道幅の狭い山間地でも検診が可能となる。同県支部によると、胸に小型の胃・胸部兼用の検査装置のレントゲン装置を導入した。この検査装置は、これまで併設車は国内メーカーによって、用は不可能だった。この二年前に開発されたため、二種類のレントゲンの搭載するためには、

山間地の巡回もOK

結核予防会県支部

全長十メートル以上の大型バスよりも一回り小さいが、機能別に二台に分けなければならなかった。しかし、技術の進歩で一台の発生装置で併用が可能になり、総重量が八割程度になったことから、四トランク程度の車体に機材が収められるようになった。今回、導入した検診車は全長八メートルと比較的小型だ。十月末から検診をスタート、今後、山間地などからの要望で、検診車を巡回させる予定している。

問い合わせは結核予防会県支部 白鳥啓男事業部長（電話0544261201）へ。

裾野市健康まつり ……11月10日（日）

今年も「ふれあい健康まつり」を福祉保健会館にて開催しました。この催しも今年で20回目を迎え、当日は晴天ながらかなり冷え込みましたが会場は約1万人の人々で賑わいました。

健康コーナーでは、試食や各団体の活動紹介、健康チェックなどそれぞれに工夫を凝らしたブースが揃い、その中でも最も人気が高かったのが「骨密度測定」です。結核予防会のご協力によるこの催しは、今年も開会セレモニーの前から順番待ちの列ができ、最終的には205人の測定者を数え、骨の健康について市民の関心の高さが窺えました。また、測定結果をもとに保健師の健康相談コーナーへ行かれる方もみられたことから、今後は個々のニーズに応える保健指導を結核予防会と共に考えていきたいと思ひます。

胸部結核検診のコーナーも今年最後の検診の機会となり、185人の受診者を数え、大変盛況でした。

裾野市健康課 主事 渡瀬重勝



伊豆長岡町健康まつり ……10月27日（日）



温泉の町、伊豆長岡町で「健康まつり」が開催されました。「自分の力、地域の力、合わせてつくろう自分の健康」をテーマにイベントが行われ、晴天も手伝って約500名の皆様に来場いただきました。その中のイベントの1つとして、昨年引き続き結核予防会による胸部結核検診を実施し、パンフレット・風船配布による結核予防PR、レントゲン写真と結核についてのパネル展示及び説明、胸部レントゲン撮影が行われました。

来場された人の中には、身内を結核で亡くされたという方も数名おられ、「とても身近な病気」として熱心に説明に耳を傾けていました。まだまだ結核は「遠い病気」にはなっていません。

今回のイベントを通じて少しでも結核予防につながれば幸いです。

伊豆長岡町保健センター 保健師 望月麻衣子

清水町健康まつり ……11月23日（祝）

小雨の降る肌寒い中、「清水町ふれあい広場」が開催され約4,000人が訪れました。町では、9月上旬から中旬にかけて結核・肺がんの集団検診を行っていますが、受ける機会を逃してしまった人からは、ふれあい広場に来て「検診ができて助かった。」また、ここに来て初めて検診を行っていることを知り、「受けてみようかな。」と受診された人もいました。一人でも多くの方が受診してくれる場として、また検診の大切さを知ってもらう機会としてその必要性を感じています。

さらに、結核予防会では、結核に関連した展示物（きれいな肺と結核に感染した肺を比較する写真等）を展示し、また結核の現状や予防についてパネル等で判り易く説明していました。このふれあい広場には、子どもからお年寄りまで幅広い年齢層が集まり、結核に関する啓蒙・啓発には良い機会になっていました。

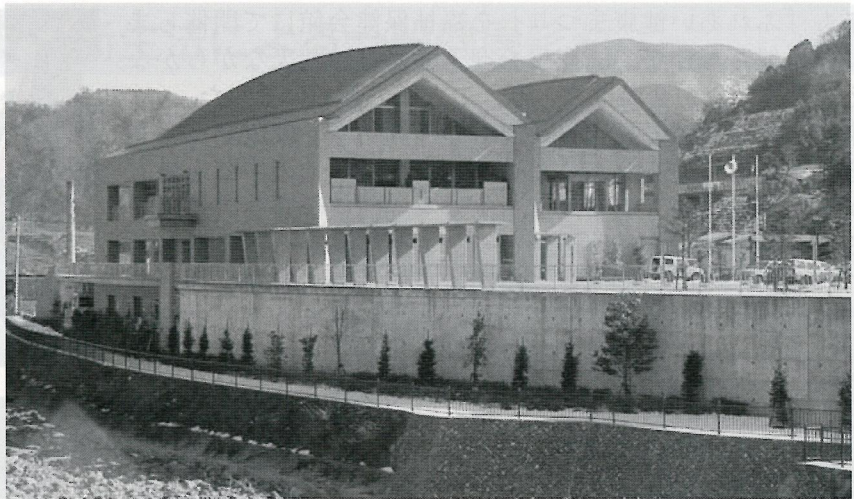
清水町保健センター 保健師 加藤直子



市町村保健センターの紹介

ふじのあるまち

おやま



健康づくりと福祉の拠点、ふじみセンター

小山町健康福祉会館～ふじみセンター～

小山町健康福祉会館（ふじみセンター）は、町民の健康づくりと福祉の拠点として、平成12年4月に開設し、健康福祉課（健康係、社会係、児童係、介護保険室）と社会福祉協議会が業務にあたっています。また、3階には浴室から実物大の富士山を望むことができる温泉を利用した入浴施設があり、町内はもとより県外からも毎日大勢のお客様が訪れています。

1階部分は保健センターとして健康運動室、内科健診室、歯科健診室、保健・歯科指導室、調理実習室、栄養相談・指導室などの設備を整え、乳幼児の健診や予防接種をはじめ町民の健康づくりを目的とした各種の保健事業を行っています。

小山町では、町民一人ひとりが主役の健康づくりに取り組み、みんなで支えあって健康づくりを実践する地域社会を目指す「第2次小山町保健計画 きらら21」を平成12年度に策定しました。

この計画は、「自分の力に地域の力を合わせ、自分たちの健康は自分たちでつくる」という新しい考え方を基本として、町民の健康づくりに対する意識の高揚を図り、個人的にも、また、組織的にも健康づくりが活性化するまちづくりを推進し、「健康をつくる人々がくらす町・おやま」の実現を目指しています。

事業紹介「けんこう集会」

「けんこう集会」は、町民のみなさんが興味・関心のあるテーマで健康学習する機会を提供して、日常生活を見直し、より健康的な生活をおくることができるようお手伝いを目的として行っています。

健康福祉課（保健師・看護師・栄養士・事務職）、保健委員及び婦人会食推部のスタッフが、地域の仲間、婦人会・老人クラブなどの組織を対象に、10人～50人の集まりで地域の公民館などで開催しています。

集会の内容は、参加者からの希望に応じて骨密度測定をし、（キャンディボールを使つての転倒予防教室）骨粗鬆症予防や更年期の過ごし方について講話、ストレッチや転倒予防体操をしたり、ときには、子ども（乳幼児）の事故と応急措置などの実技を行ったり、大変好評を得ています。

この「けんこう集会」は、各地区の保健委員のみなさんが実施の申込み、内容・日時についての調整までを行い、大きな役割を果たしています。これにより、とても有意義な集会になっています。



（キャンディボールを使つての転倒予防教室）

小山町役場 健康福祉課 岩瀬貴雅

連載 たせ・たせ・たあに……番外編

胸部検診車は、普通自動車？それとも大型自動車？

(答) どちらも、正解です。

検診車といえども、車は道路交通法によって分類され、車の長さ、幅、高さによって決まります。当支部の検診車シール3号は、長さー8.22mで普通自動車扱いですが、長さが8.43mのシール6号は大型自動車となり、大型免許が必要です。ちなみに、当支部のドライバーは、全員大型免許を取得しています。

余談ですが、検診車は全車、ディーゼル車です。東京都の環境確保条例(略称)の対象車となり、静岡県内の車といえども都内の運行に関しては、都の条例で定める粒子状物質排出基準を満たさないディーゼル車は、禁止されます。都の条例施行は、平成15年10月からです。

なお、規制の対象はディーゼル車ですが、乗用車については対象外となっています。環境を大気汚染から守るため、つまり健康を守るための大きな手段のひとつになると思われます。

15年度複十字シール

平成15年度の複十字シールは、大型シールが50面から24面となり、またのり付きタックシールへ変更しました。手紙やはがきに貼る他、ワンポイント等として貼るなど使用範囲が広がりました。シールデザインは平成14年度と同様、安野光雅さんで、さまざまな大きさの動物がシールの中に一杯、たのしさを溢れている絵で構成されています。

✦DOUBLE-BARRED CROSS SEALS 2003✦



複十字シール
みんなの力で結核や肺がんをなくすために
複十字シールは世界共通の結核予防運動のシンボルです

シールデザイン・安野光雅
フードイラストレーター・山田保太郎
挿絵・国立の巻鳥
✦ 財団法人結核予防会

キ〜オ先生の一日

作画 コウイチ



複十字シールに寄せる思い

新しいシールが届きました。毎年繰り返されるシール募金運動、このシールと出合って20数年を数えました。綺麗で可愛らしいシールを見て、「これってどう使うのかしら?」「貰った人は、どうしているのかしら?」「切手と間違ってしまうのでは?」最初の疑問でした。

私たちには、シールを使うという習慣がないので仕方がないのですが。以前、結核予防婦人会の方たちから、「使い道がなくて仕舞い込んだままで、また次が届く。」と聞き、なぜか納得してしまったことがありました。

しかし、それはおかしい。募金も大事だけれど、その媒体である綺麗で可愛らしいシールが使われずに眠っているのはあまりにも勿体ない。誰でも簡単に使える、もっと楽しい方法はないかな ~と思っていました。そんな時、神奈川県支部の松野さんの数種類あるシールをパッチワーク風に使った手作りカードを拝見し、そのセンスの良さに驚き感激したのです。

年賀状や暑中見舞いのハガキにシールを貼るという発想をいただき、自分なりに作ってみると、これが結構面白く、楽しく、簡単と何拍子も揃った作業に熱中してしまったのです。

その後、毎年行われる複十字シール運動キャンペーンで「シール遊び」のコーナーを受け持たせてもらい、カードやしおり・折り紙に、手紙や包装の封印等にシールを貼るなど思いつくままに使い方を考えました。またシールも年度別にしたたり、種類別に並べたりと楽しいアルバムが出来ました。拙い作品ですが、今後のキャンペーンや婦人会の集まり等の際に紹介してもらおうなどシールを使う一助になればとてもうれしく思います。

最後に、いつも考えていることは、基本に戻って結核予防の普及と事業に欠かすことの出来ないものとして、このシールをもっと使ってもらうことで募金を増やすことの検討をされたらいかがでしょうか。

こういうご時世だからこそ、共同募金の「赤い羽根」と同じような考えの元に、結核予防・撲滅のシンボリックなものとして使われるよう、その趣旨を繰り返しPRすることで、ご理解いただくための努力をしてみたいと思います。

計画課 主事 海野典子

平成14年度結核予防リーダー研修会

・主催 静岡県結核予防婦人会・同駿東支部・同金谷支部・同北遠支部

研修内容

区分	東部地区	中部地区	西部地区
日時	平成15年2月19日(水) 午後1時～4時	平成15年3月4日(火) 午後1時～4時	平成15年2月28日(金) 午後1時～4時
会場	コミュニティながいずみ 駿東郡長泉町下土狩1283-11 電055-988-7800	金谷町夢づくり会館 榛原郡金谷町島550-2 電0547-46-0075	天竜市民ホール壬生 天竜市二俣町二俣20-2 電0539-22-3301
(1) 講師	(財)結核予防会 結核研究所 国際協力部国際研修科長 大菅克知 先生	(財)結核予防会 結核研究所 疫学研究部疫学科長 野内英樹 先生	(財)結核予防会 結核研究所 対策支援部放射線学科長 中野静男 先生
演題	「結核対策と人作り」 －ネパールでの 経験から－	「国際協力と エイズ結核対策」	「カンボジア国の結核事情 とその実態調査に 同行して」
(2) 講師	静岡県立こども病院 放射線科医長 青木克彦 先生	静岡県立こども病院 放射線科医長 青木克彦 先生	静岡県立こども病院 放射線科医長 青木克彦 先生
演題	「視て診る検査」 －画像検査って、 どんなもの?－	「視て診る検査」 －画像検査って、 どんなもの?－	「視て診る検査」 －画像検査って、 どんなもの?－
募集人員	200人 (参加団体) 結核予防婦人会 市町村保健委員 県・市町村保健師	200人 (参加団体) 結核予防婦人会 市町村保健委員 県・市町村保健師	200人 (参加団体) 結核予防婦人会 市町村保健委員 県・市町村保健師



みんなそろって健康診断
結核検診
肺がん検診
胃がん検診

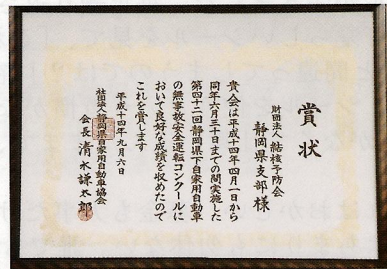


岡村 彰二

勲五等双光旭日章
前技監

職員等の
受章

当支部は、検診車
14台、普通車3台、
軽自動車2台がフル
稼働。「安全運
転」をモットーに
全職員一丸となっ
ての成果です。



交通安全
表彰

新年明けまして
おめでとうございます
本年もよろしくお願
い申し上げます



編集後記

あけましておめでとうございます。
新しいカレンダーにボタンタッチし
た今年最初の号です。今回は当支部で
行っている総合健診を改めて紹介して
おります。他の検診項目の追加や費用
についても御遠慮なくお尋ね下さい。

(A・K)

題 字：田中 隆 (元支部職員)
表紙撮影：白鳥岩男 (事業部長)